ODELIC
2015年5月26日

オーデリック株式会社
第76期（2015年3月期）決算説明資料

オーデリック株式会社
http://www.odelic.co.jp
JASDAQ
6889

目次

ODELIC
2015年5月26日

1. 市場環境と業績推移

2. 2015年3月期連結業績

3. 品目別販売実績

4. 2016年3月期業績予想及び中期経営計画

5. 資料

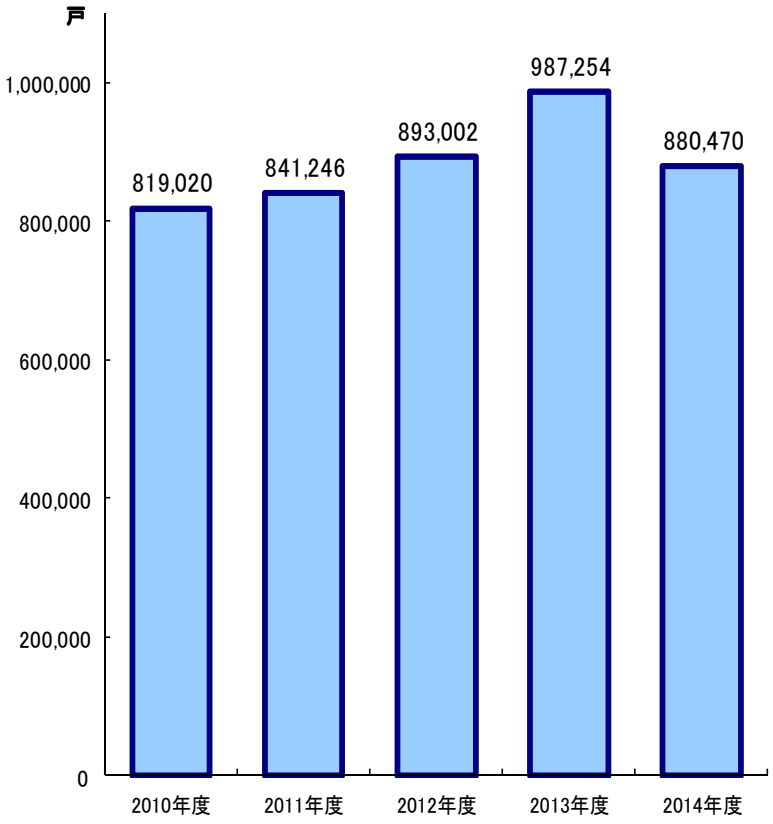
1-1. 市場環境推移

1-2. 当社業績推移

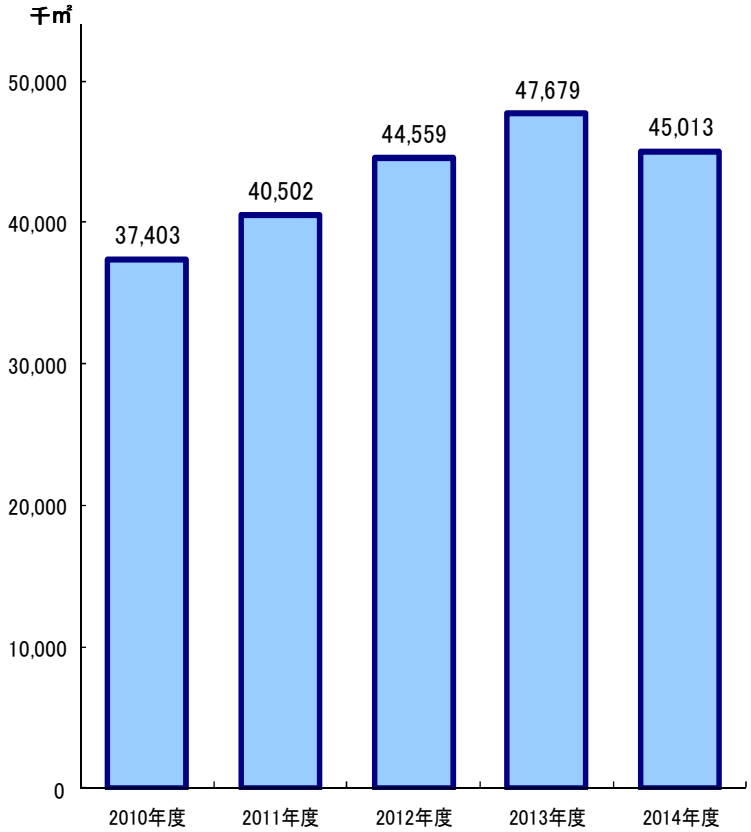
1-1 市場環境推移

ODELIC
2015年5月26日

新設住宅着工戸数年度別推移

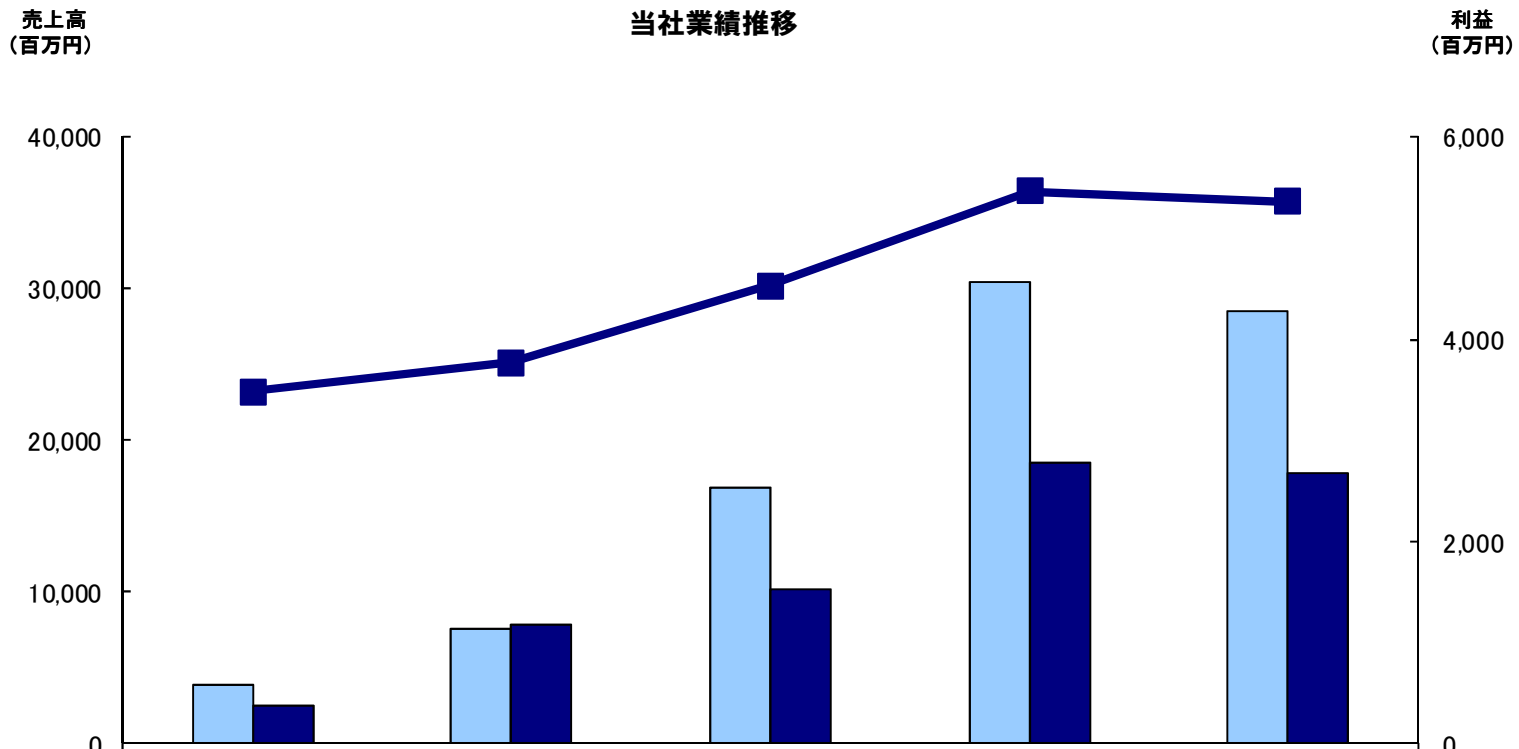


非居住用建築物着工床面積年度別推移（民間）



1-2 当社業績推移

ODELIC
2015年5月26日



	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期
売上高	23,230	25,131	30,178	36,437	35,768
営業利益	577	1,142	2,525	4,558	4,288
当期純利益	384	1,181	1,532	2,770	2,683

2-1. 事業成績

2-2. 営業利益増減分析

2-3. 資産・負債の増減

2-4. キャッシュフロー

2-1. 事業成績

ODELIC
2015年5月26日

（単位：百万円）	2015年3月期（当期）			2014年3月期（前期）			対前年同期増減		
	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期
売上高	16,435	19,332	35,768	15,926	20,510	36,437	508	△ 1,177	△ 669
売上高前期比	103.2%	94.3%	98.2%	117.8%	123.1%	120.7%			△ 1.8%
売上原価	10,309	12,426	22,736	10,106	13,151	23,257	203	△ 724	△ 520
売上総利益	6,125	6,905	13,031	5,820	7,359	13,179	305	△ 453	△ 148
売上高総利益率	37.3%	35.7%	36.4%	36.5%	35.9%	36.2%			0.3%
営業利益	1,854	2,433	4,288	1,662	2,896	4,558	192	△ 462	△ 270
経常利益	1,888	2,444	4,333	1,706	2,926	4,633	182	△ 482	△ 299
当期純利益	1,196	1,487	2,683	1,034	1,736	2,770	161	△ 248	△ 86

2-3. 資産・負債の増減

ODELIC
2015年5月26日

（単位：百万円）	2015年3月期	2014年3月期	前期比増減
流 動 資 産	22,867	21,119	1,748
固 定 資 産	9,499	9,194	304
有形固定資産	6,233	6,344	△ 110
無形固定資産	1,166	1,157	9
投資その他の資産	2,099	1,692	406
資 産 合 計	32,367	30,314	2,052
流 動 負 債	7,357	7,897	△ 540
固 定 負 債	2,252	2,130	122
負 債 合 計	9,610	10,028	△ 417
純 資 産 合 計	22,757	20,286	2,470
負債純資産 合計	32,367	30,314	2,052

主な増減
（資産） ・現預金増加：2,076 ・受取手形及び売掛金減少：752 ・棚卸資産増加：434
（負債） ・支払手形及び買掛金減少：160 ・未払法人税等減少：351
（純資産） ・利益剰余金増加：2,081

2-4. キャッシュ・フロー

ODELIC
2015年5月26日

（単位：百万円）	2015年 3月期	2014年 3月期	前期比 増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,295	2,005	1,289
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 599	△ 619	19
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 619	△ 472	△ 146
現金及び現金同等物の増減額	2,076	913	1,162
現金及び現金同等物の期首残高	5,898	4,984	913
現金及び現金同等物の期末残高	7,975	5,898	2,076

当期の主な内訳
（営業活動によるキャッシュ・フロー） ・税金等調整前当期純利益：4,329 ・減価償却費：696 ・売上債権減少：752 ・棚卸資産増加：434 ・仕入債務減少：263 （投資活動によるキャッシュ・フロー） ・有形固定資産取得による支出：568 ・無形固定資産取得による支出：32 （財務活動によるキャッシュ・フロー） ・配当金支払額：598 ・ファイナンス・リース債務返済：15

3-1. 販売金額・構成比推移

3-2. 四半期別販売金額構成比推移

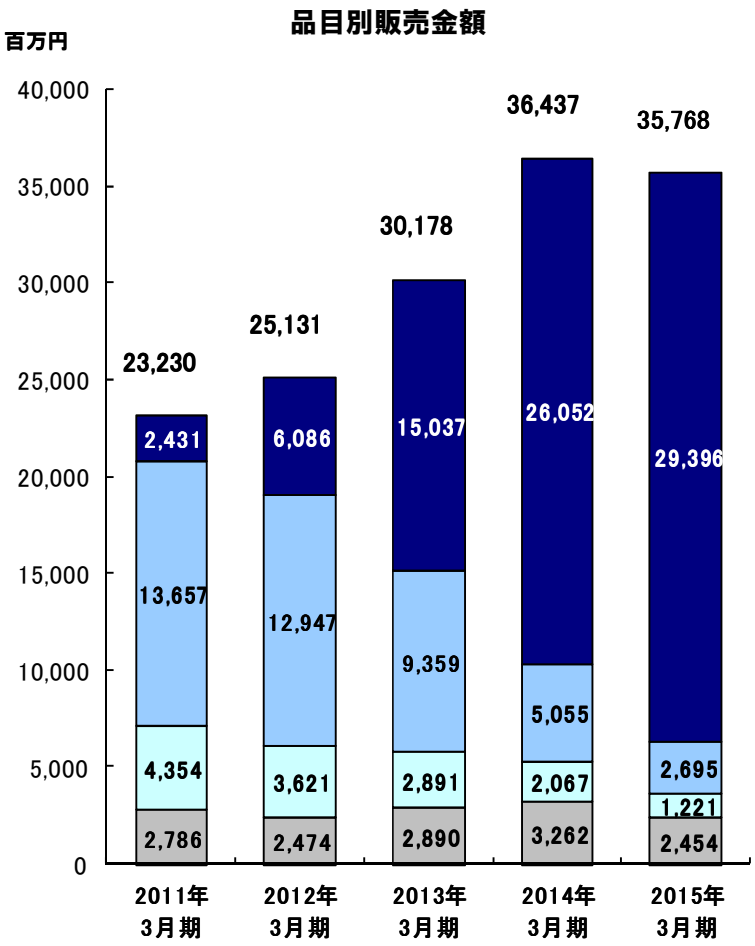
3-3. 当期における取り組みと実績（住宅向け）

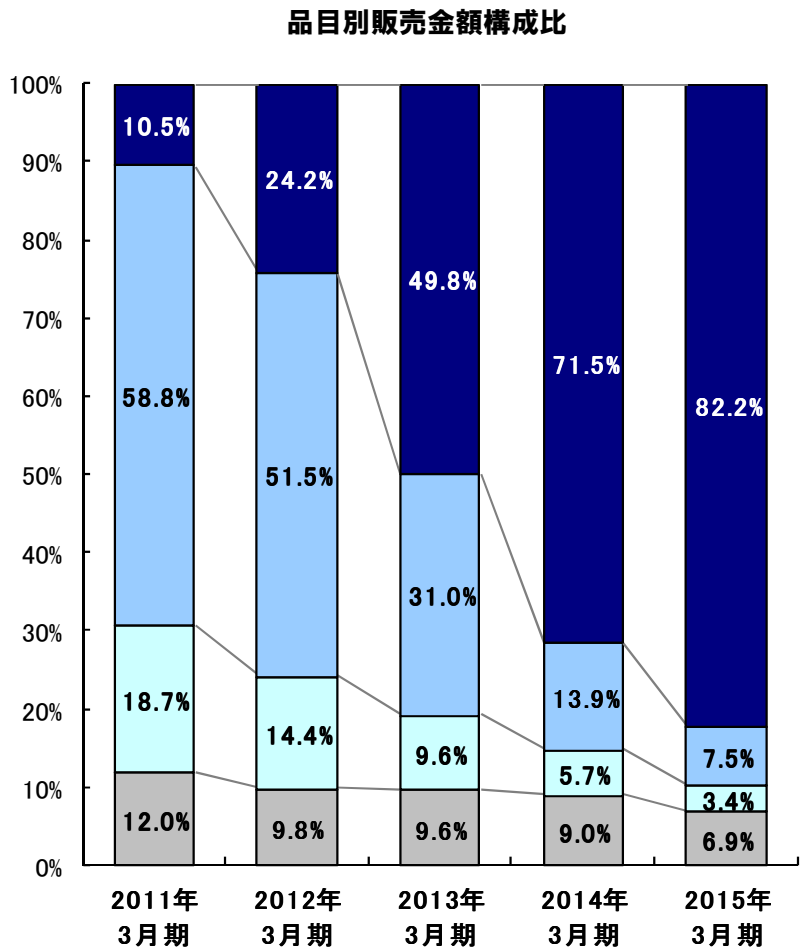
3-4. 当期における取り組みと実績（非住宅向け）

3-1. 販売金額・構成比推移

ODELIC
2015年5月26日

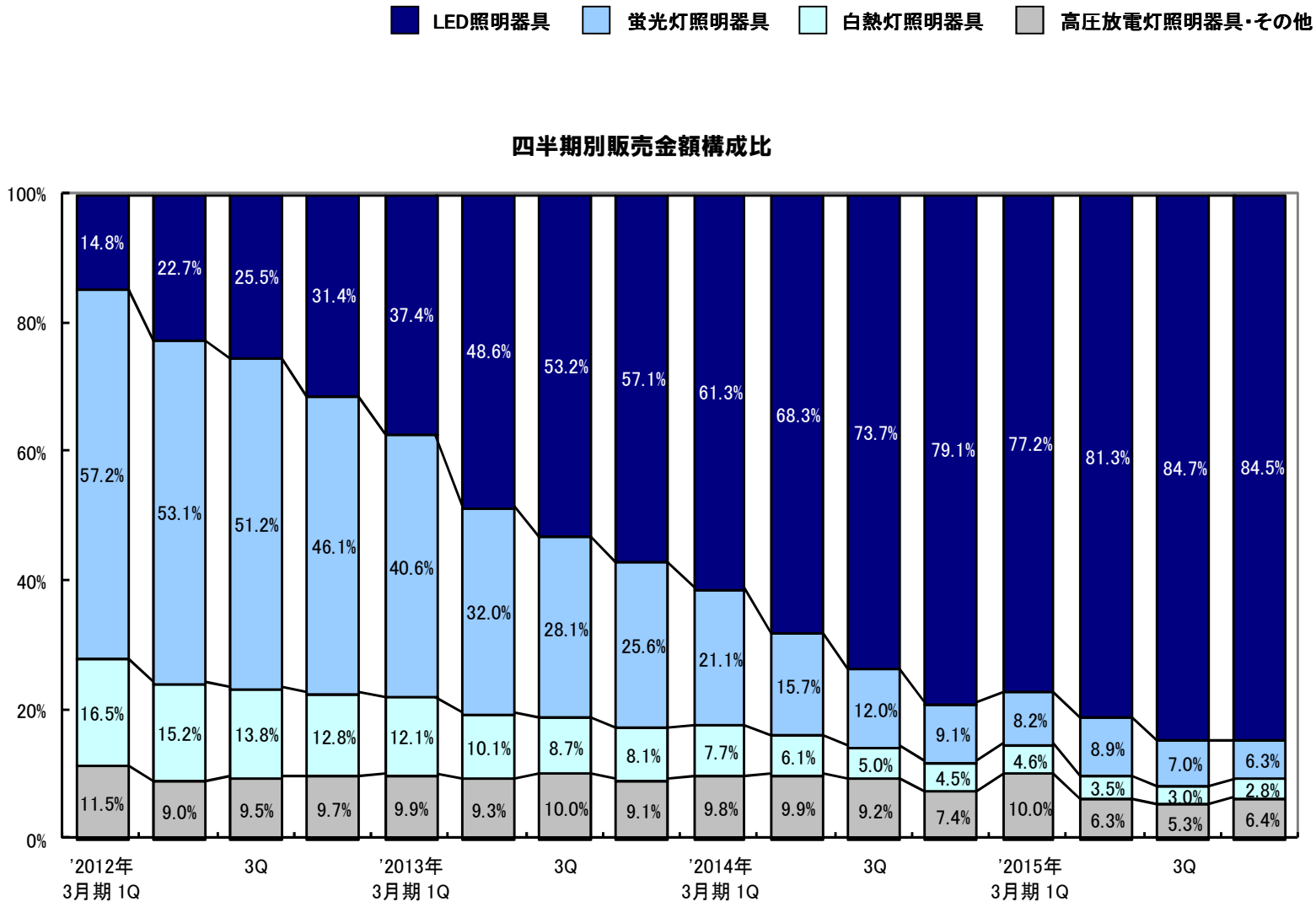
LED照明器具　蛍光灯照明器具　白熱灯照明器具　高圧放電灯照明器具・その他





3-2. 四半期別販売金額構成比推移

ODELIC
2015年5月26日

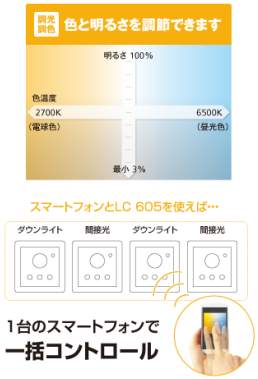


3-3. 当期における取り組みと実績（住宅向け）

ODELIC
2015年5月26日

1.照明コントロール機能の充実

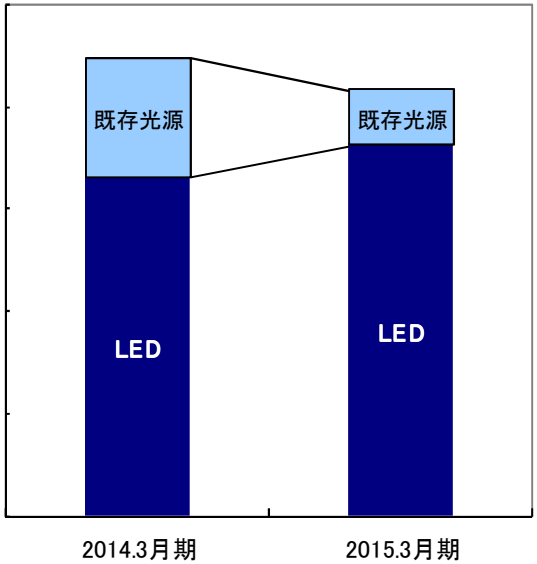
LEDならではの「調色」「調光」機能ならびに照明コントロール機能の充実を図り、各種の演出提案型商品を開発。
また調光可能型など当社オリジナルLEDランプも多数開発し、シャンデリアには調光可能型ランプを標準搭載したほか、小型シーリングライト、ブラケットライト、ペンダントライト等については、調光可能型ランプが選択できるようにラインナップ。



2.住宅基本照明、廉価版ダウンライトの開発

スタンダード品（薄型シーリングライト、キッチンライト、玄関灯など）については、シンプルデザインを低コストで品揃え。新築やリニューアル物件向けの提案を強化。

住宅向け照明器具の販売実績



集計対象とした住宅向け照明器具の販売は前期比7%減少したが、LED照明器具10%販売が増加し、本集計におけるLED化率は87%となった。

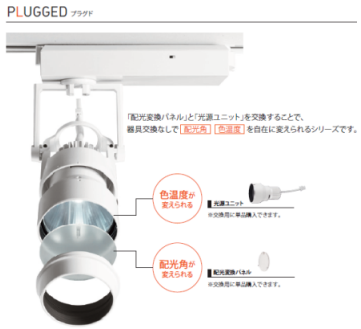
集計対象：
シャンデリア、ペンダントライト、シーリングライト、ブラケットライト、ポーチライト、住宅用ダウンライト

3-4. 当期における取り組みと実績（非住宅向け）

ODELIC
2015年5月26日

1.商空間向けLED照明器具カタログ発行

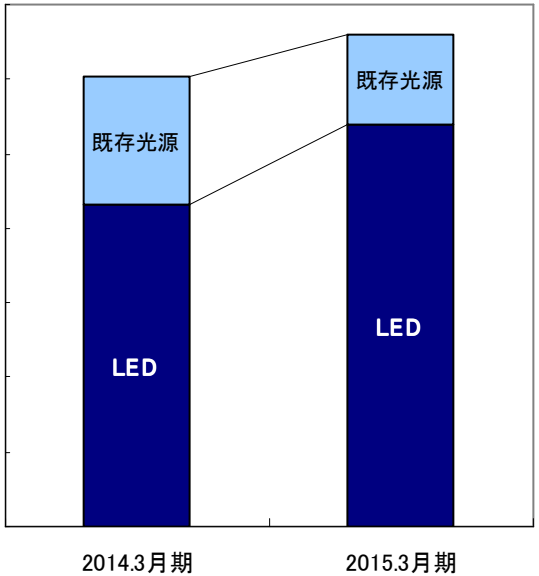
商空間向けのLED照明器具を掲載したOS（オーエス）カタログを2014年9月及び2015年2月に改訂。
当期、2度のカタログ発刊に際して、合計1,500点を超える新製品を開発した。
2015年2月発刊の「OS04.5」カタログでは、照射物の色の彩度を高める「高彩色」光源を搭載したダウンライト、スポットライトを発売。



2.オフィス・工場・屋外等幅広い製品開発

オフィスや工場などあらゆる空間のベース照明に適したLEDユニット一体型ベースライト「LED-LINE」シリーズ、工場など高天井用のハイパワー照明器具、環境配慮型ソーラーLED街路灯等、幅広い用途に向け製品を開発。

非住宅向け照明器具の販売実績



集計対象とした非住宅向け照明器具の販売は前期比9%増加し、LED照明器具については25%販売が増加、本集計におけるLED化率は82%となった。

集計対象：
非住宅用ダウンライト、スポットライト、ベースライト、防犯灯、街路灯

4. 2016年3月期業績予想及び中期経営計画

4-1. 2016年3月期業績予想

4-2. 経営を取り巻く環境と取り組むべきテーマ

4-3. 成長戦略 ①住宅照明分野

4-4. 成長戦略 ②非住宅照明分野

4-5. 成長戦略 ③海外展開

4-6. 中期経営計画における数値目標

4-1. 2016年3月期業績予想

ODELIC
2015年5月26日

	2015年3月期 実　績	2016年3月期 予　想
売上高（百万円）	35,768	37,000
営業利益（百万円）	4,288	4,700
経常利益（百万円）	4,333	4,750
当期純利益（百万円）	2,683	2,850
1株当たり 当期純利益（円）	445.53	473.13
年間配当金（円）	100.00	120.00
配当性向	22.4%	25.4%

前年度比2ケタの減少となった新設住宅着工戸数について、2015年度は2～3%程度の増加を予想しており、企業収益の改善を背景とした民間設備投資の増加が見込まれることから、当社グループの業績に大きな影響を与える建設市場環境は、堅調に推移するものと予想。

売上の8割以上を占めるLED照明器具について、単価下落幅はこれまでよりも低くなるものの、2016年3月期においても平均単価の下落は続くものと見込んでいる。

単価下落幅を上回る販売数量増加により、売上高は前期比3.4%増の37,000百万円を計画。

国内の自社工場を主体とする生産体制を維持し、稼働率向上や各種合理化等により、売上原価率低減に向けたコストダウンを引き続き推進。

増収とコスト低減努力により営業利益4,700百万円、当期純利2,850百万円と最高益の更新を目指す。

増益予想をもとに、株主配当金については、中間配当50円（前期は40円）、期末配当70円（前期は60円）、年間配当金は120円と前期比20円の増配とする予想。

4-2. 経営を取り巻く環境と取り組むべきテーマ

ODELIC
2015年5月26日

■ LED化の伸び率鈍化と単価下落

2009年度で総出荷の約5%であったLEDの構成比は直近で80%を超えるまで拡大を続けてきたが、今後の伸び率は鈍化する。
製品価格については普及拡大とともに低価格化が進んでおり、2014年度のLED照明の平均単価は前期比で約10%下落した。

■ 新設住宅着工戸数の減少

消費増税の影響で2014年度では前期比10.8%減となった新設住宅着工戸数。2015年度では2～3%程度の増加が期待されるものの、長期的には人口減少に伴って新設住宅着工戸数は減少していくものと予想される。

■ 東京オリンピックに向けた施設・インフラ整備

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた施設の整備や都市再開発に伴う建設需要、店舗・施設の改装といった需要が期待される。

■ エネルギーのスマート化加速

家庭、オフィスなどのスマート化が加速し、エネルギーを「つくる」「貯める」「効率的に使う」ための機器やしくみの開発が必要となる。

LED照明の高付加価値化

ストック需要へのアプローチ強化

グローバル展開の本格化

非住宅照明のラインナップ拡充

スマート化対応機器の開発強化

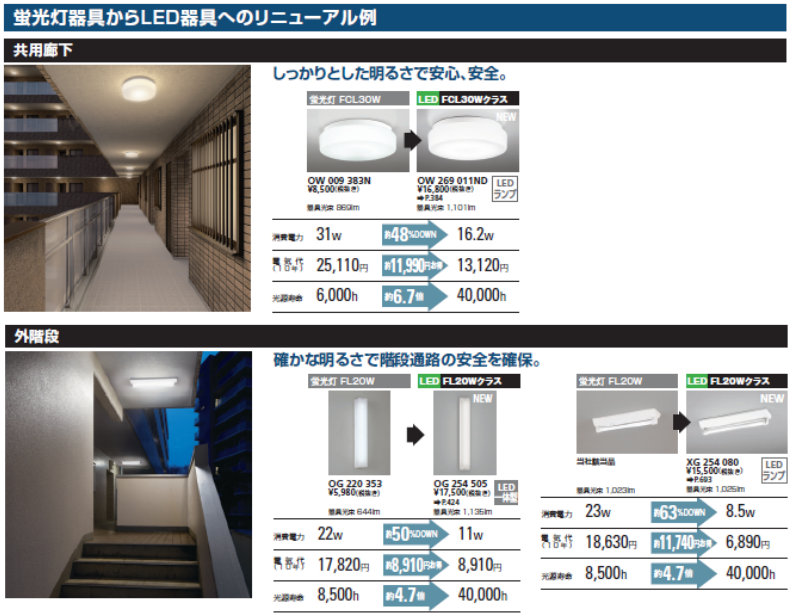
4-3. 成長戦略 ①住宅照明分野

ODELIC
2015年5月26日

住宅リフォームやマンションリニューアルなど、拡大が期待されるストック需要に対応するLED照明新製品ラインナップの充実を進める。

また、今後加速するスマート化に対応すべく、照明制御機能を搭載した照明器具開発、提案活動をさらに進める。

住宅・マンションリニューアルへの提案例



制御機能を持った新製品の開発・提案

4-4. 成長戦略 ②非住宅照明分野

ODELIC
2015年5月26日

商空間向けLED照明器具カタログ「OS（オーエス）カタログ」の品揃え強化とともに、オフィスや工場、屋外に至るまで幅広い用途に向けたLED照明新製品を開発し、堅調な需要が見込まれる非住宅分野での案件獲得に取り組む。

商空間用途の新製品開発

オフィス・工場・屋外用途の新製品開発

4-5. 成長戦略 ③海外展開

ODELIC
2015年5月26日

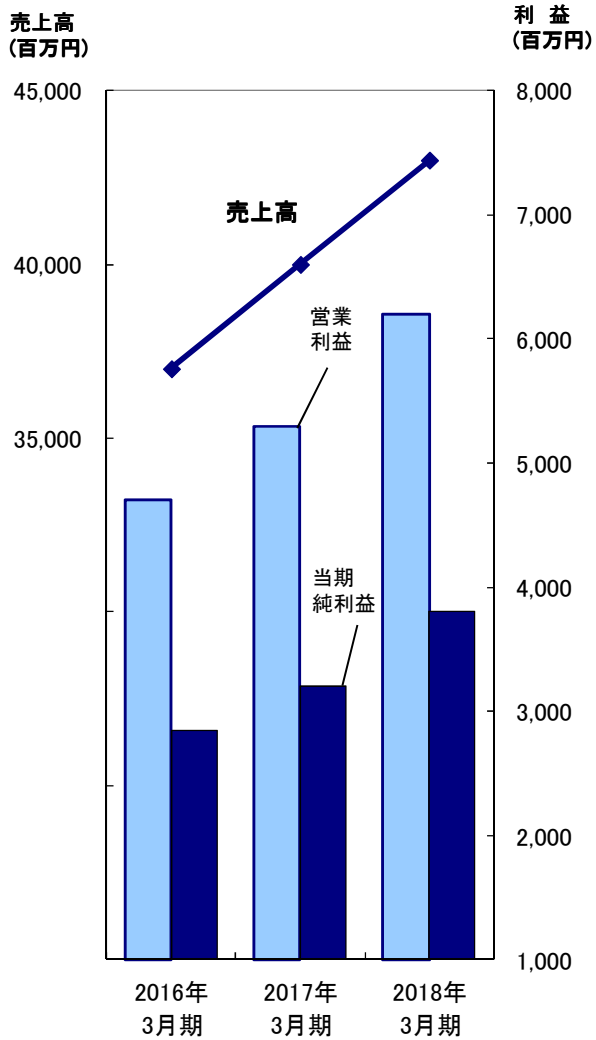
国際認証を取得したMade in Japanの高品質LED照明器具により、アジアや中東地域など、海外での売上拡大に向けた取り組みを加速する。

高品質な made in Japan を海外市場へ.

4-6. 中期経営計画における数値目標

ODELIC
2015年5月26日

	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期
売上高（百万円）	37,000	40,000	43,000
営業利益（百万円）	4,700	5,300	6,200
当期純利益（百万円）	2,850	3,200	3,800
売上高営業利益率	12.7%	13.3%	14.4%



2017年3月期については、消費増税（8%→10%）前の駆け込み需要を一定程度盛り込む。

2017年3月期は、当社の創業70周年に当たることから、節目の年として400億円の売上達成を目指す。

2018年3月期においては、消費増税後の反動減が懸念されるが、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた施設整備等の活発化が見込まれることから非住宅分野での売上伸長により、引き続き増収増益を計画する。

5. 資料

・プロフィール

・株主状況

プロフィール

ODELIC
2015年5月26日

社名	オーデリック株式会社 （ ODELIC CO., LTD. ）
代表者	代表取締役社長　伊藤雅人
本店	東京都杉並区宮前1-17-5　03-3332-1111（代表）
設立	1951年6月
上場	1996年11月 （東京都証券取引所 JASDAQ市場）
資本金	31億550万円
連結対象子会社	山形オーデリック（株）（生産、物流管理業務）
	（株）日本ライティング （販売）
	オーデリック貿易（株）（輸入、販売）
	アルモテクノス（株）（開発、生産）

株主状況

ODELIC
2015年5月26日

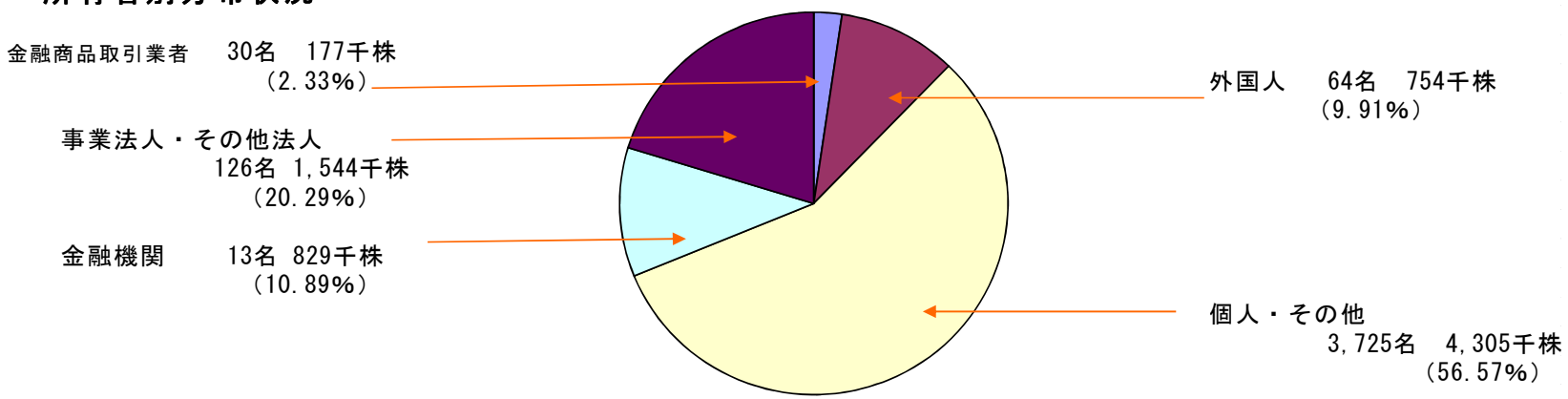
発行可能株式総数	28,941,000 株
発行済株式の総数	7,611,000 株
株主数	3,958 名
１単元株式数	100 株

大株主

株主名	持株数（千株）	出資比率(%)
㈲アマセクリエート	625	8.21%
オーティアイ㈱	430	5.65%
オーデリック従業員持株会	257	3.38%
㈱みずほ銀行	242	3.18%
日本トラスティ・サービス信託銀行㈱	188	2.48%
伊藤恵美子	165	2.18%
オーデリック取引先持株会	153	2.02%
伊藤雅人	150	1.98%
㈱三井住友銀行	150	1.97%
㈱三菱東京ＵＦＪ銀行	100	1.31%

※当期末現在の当社所有の自己株式数は1,587,401株、構成比率20.86%

所有者別分布状況



当資料の取り扱い上の注意

当資料に記された当社の現在の計画、予想、戦略等は将来の業績に対する見通しであります。 これらは、現在において入手可能な情報を基にオーデリックの経営者が判断し、作成されたものです。新たな情報、将来の事象、その他の判断に基づき、将来の見通しを見直すことがあります。

本資料に関するお問い合わせ先　　オーデリック株式会社
経営企画ゼネラルマネージャー　田中　豊
Tel　03-3332-1107
Fax　03-3332-1105